## 令和6年度

労働安全衛生法第59条・同規則第36条に義務付けられた

# 『産業用ロボット特別教育』講習会のご案内

## - 産業用ロボットの教示と検査等の業務に係る特別教育 -

産業用ロボットの教示・検査等に係る業務に従事する労働者全員に対して、事業者は労働安全衛生法第59条第3項に基づき、特別教育を行うことが法令で義務づけられています。

また、産業用ロボットに関する業務のうち、安全のための特別教育を必要とする業務と しては、労働安全衛生規則第36条第31号、第32号において、「産業用ロボットの教示等の 業務」及び「産業用ロボットの検査等の業務」が定められています。

産業用ロボットを導入される企業様、新人・新任社員様向けの教育として、ロボットSI 検定を受検予定の方など、ロボットを使用される方は、是非、ご受講をご検討ください。

## 実技で使用するロボット機種(予定)

- ◆パナソニックコネクト株式会社 パナソニックロボット G3 シリーズ(5 月期) パナソニックロボット G4 シリーズ(1 月期)
- ◆三菱電機株式会社 名古屋製作所 三菱電機ロボット MELFA RV-2F-Q、MELFA RV-3SQ(7、9、11、3 月期)
- ◆株式会社 TECHNO REACH ファナックロボット LRmate200iD 7L、LRmate200iB(12 月期)

主 催:(公財)名古屋産業振興公社 共 催:名古屋商工会議所

協 賛:中部金型技術振興会 (一社)愛知県溶接協会 (一社)日本ロボット工業会

中部塗装技術研究会中部歯車懇話会中部溶接振興会

中部エレクトロニクス振興会 (一社)日本ロボットシステムインテグレータ協会



#### 産業用ロボット特別教育講習会

#### ○開催日程

#### 講習日数

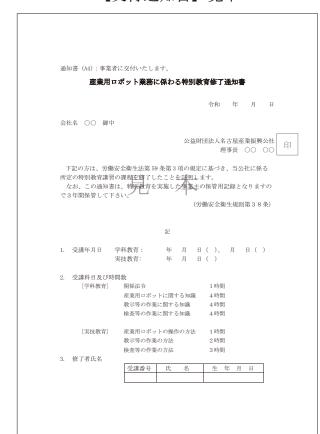
#### 開催時期 実施日 学科教育(2日) 実技教育(1日) 16日 (木) 令和6年5月14日(火) 14日 (火) 5月期 or 15日 (水) ~17日(金) 17日 (金) 11日(木) 9日 (火) 令和6年7月9日(火) 7月期 or 12日(金) ~12日(金) 10日 (水) 5日(木) 令和6年9月3日(火) 3日(火) or 6日(金) 9月期 ~6日(金) 4日(水) 7日(木) 令和6年11月5日(火) 5日(火) 11月期 or 8日(金) ~8日(金) 6日(水) 5日(木) 令和6年12月3日(火) 3日(火) 12月期 or 4日 (水) ~6日(金) 6日(金) 23日 (木) 令和7年1月21日(火) 21日 (火) 1月期 or ~24日(金) 22日 (水) 24日 (金) 6日(木) 令和7年3月4日(火) 4日(火) 3月期 or 5日 (水) ~7日(金) 7日(金)

#### 合計3日間(学科2日+実技1日) ○講習会内容(昼休憩、1時間を含みます。)

		時間	科目					
学科	1 日 目	9:10~14:10	産業用ロボットに関する知識 (4時間)					
		14:15~16:45	教示等の作業に関する知識					
	2 日 目	9:10~10:40	(4時間)					
		10:45~15:45	検査等の作業に関する知識 (4時間)					
		15:50~16:50	労働安全衛生法、施工令等の関係法 (1時間)					
実技	3 日 目	9:30~10:30	産業用ロボットの操作の方法 (1時間)					
		10:30~12:30	産業用ロボットの教示等の作業の方法 (2時間)					
		13:30~16:30	産業用ロボットの検査等の作業の方法 (3時間)					

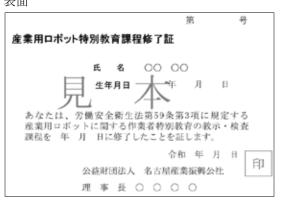
◎実技教育を受講終了後に修了通知書及び修了証を交付いたします。

#### 【交付通知書】見本



#### 【修了証】見本

表面



#### 裏面



○受 講 料: 賛助員(共催、協賛会員を含む) 1名 34,980円(テキスト含)

一般

1名 40,480円 (テキスト含)

【テキストは「産業用ロボットの安全必携」中央労働災害防止協会編(第4版) を使用予定です。テキスト持参の場合は下記の受講料になります。】

賛助員(共催、協賛会員を含む) 1名 33,000円(テキスト無)

一 般

1名 38,500円 (テキスト無)

○申 込 方 法:申込書に記入し、FAX、郵送又はEメール添付でお申込みください。 (数日経過しても当方より連絡がない場合は、お手数をおかけしますが、

ご連絡をお願いいたします。)

受講料は請求書をお送りしますので、納入期日までにお振り込みください。 なお、手数料は振込み人でご負担願います。開講後のキャンセルは、受講料 の払い戻しはいたしませんのでご了承ください。

- ◆開講の約2週間前に受講票および請求書をお送りします。
- ◆本研修中の事故につきましては、一切責任を負いません。
- ◎ホームページ (https://www.nipc.or.jp/kougyou/p\_training/index.html) でも常時案内しております。Eメールでのお申込みもご利用ください。

○申 込 期 限:各月期の実施日の2週間前

◆申込人数が定員を越えている時は、申込期限前でもお断りする場合があります。

## 会場のご案内

1. 学科教育

名古屋市工業研究所・会議室 名古屋市熱田区六番三丁目 4番 41 号 (TEL 052-654-1653)

2. 実技教育

[5月期、1月期]

パナソニック コネクト(株)プロセスエンジニアリングセンター 愛知県長久手市熊田 1607 番地 (TEL 0561-63-1644)

[7月期、9月期、11月期、3月期]

三菱電機(株)名古屋製作所 F A コミュニケーションセンター(F C C) 名古屋市東区矢田南五丁目 1 番 14 号 (TEL 代) 052-721-2111)

〔12月期〕

(株)TECHNO REACH

愛知県長久手市作田 2 丁目 909 番地 (TEL 0561-63-0261)

### 〔連絡先〕 公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課

所在地 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目 4番 41 号(名古屋市工業研究所内)

電 話 (052) 654-1653

FAX (052) 661-0158

E-mail kenshu@nipc.or.jp

## (公財)名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課 宛

FAX: 052 - 661 - 0158 E-mail: kenshu@nipc.or.jp

## 産業用ロボット特別教育( 月期)申込書

				令和	年	月	日			
会	社	名								
	ー ホームペーシ	_	(URL:			)				
			<u></u>			,				
所	在	地								
			mp.i	DAN						
連	絡	先	TEL	FAX						
(	ふりがな	)		生年月日						
552	进业工	Þ		昭和	年	———— 月	п			
区	講 者 氏	石		平成		月	日			
※受講者氏名・生年月日は、修了証及び通知書作成時の基となりますので正確にご記入ください。										
所	属部	課								
事	—————— 務連絡者連約	各先	<u> </u>							
  /上	記会社所在	地								
_`_	異なる場合記			T I						
	ふ り が な	)		所属部課						
重	務連絡者氏	- 42	TEL	FAX						
7	伤连帕伯口	<b>,</b> 10		ГАЛ						
			E-mail							
所属されている団体名の□欄にチェックを付けてください。(複数可) ※所属団体については、御社にてご確認下さい。ご記入のない場合は、一般企業としてお取り扱いいたします。										
主	主 催:□(公財)名古屋産業振興公社 共 催:□名古屋商工会議所									
協	<b>賛:</b> □中部	金型	技術振興会 □(一社)愛知県溶接協会	· (	一社)日本口	コボット工	業会			
			技術研究会 □中部歯車懇話会		部溶接振興					
□中部エレクトロニクス振興会 □(一社)日本ロボットシステムインテグレータ協会										
			賛助員企業(共催・協賛会員を含む)	一般企業						
受	講 (税	料 込)	│ │ □ テキスト持参しない 34.980円		<b>は糸したい</b>	10 1	2 N III			
***	EANS - L - 1 /Price	<b>+</b> =	□ テキスト持参 33,000円			,				
	験料、テキスト代は <sup>-</sup> る場合があります。	、変更	, , , ,			,				
使	用テキス	۲	「産業用ロボットの安全必携」中央会	労働災害防	止協会編	(第4版)				

(複数名お申込みの場合は、この用紙をコピーしてください。)

- ◆募集締切後、受講料の請求書をお送りしますので、開講日前日までにお振込をご予定ください。
- ◆ご記入いただきました個人情報は、受講者への連絡や当公社の開催する研修の案内など研修の 円滑な運営に必要な範囲内に限り、使用させていただきます。